

DICの請求率

β20170905版

「病院情報の公表」に関する資料に準じて作成。

http://www.prrism.com/dpc/byouinjyouho_koukai28.html (平成28年度版)

http://www.prrism.com/dpc/byouinjyouho_koukai29.html (平成29年度版)

使用するデータ 様式1 (子様式を含む)

入院年月日に関わらず、当該期間に退院した患者である。

- 「DIC発生率の症例数」を算出する場合は、子様式がある場合は子様式を用いて症例数をカウント。具体的には、様式1の病棟に関するフラグにおいて、「調査対象となる一般病棟への入院の有無」が「1」、かつ「調査対象となる精神病棟への入院の有無」が「0」、かつ「調査対象となるその他の病棟への入院の有無」が「0」のレコードを1症例としてカウント。

様式1の精度向上を図るために、個々の様式1 (子様式がある場合は子様式) の最も医療資源を投入した傷病名が播種性血管内凝固 (DPC6桁130100)、敗血症 (DPC6桁180010)、その他の真菌症 (DPC6桁180035)、手術・術後の合併症 (DPC6桁180040) について、入院契機病名 (DPC6桁レベル) の同一性の有無を区別して症例数をカウントする。同一性の有無とは、上記4つの各医療資源最傷病の症例 (DPC6桁レベル) について、様式1の入院契機傷病名に対するICD10コードが、下記表の医療資源最傷病名に対応するICD10コードに該当している場合は「同一」とする。同一性の有無を区別した各症例数 (個々の様式1ベース) の、全退院患者数に対する発生率を示す。

<http://www.prrism.com/dpc/syukeijyouken.pdf#page=7> (平成28年度版)

<http://www.prrism.com/dpc/29syukeijyouken.pdf#page=9> (平成29年度版)

の表から、各項目に相当するICD10をとってきて評価する。

参照期間：2014年度

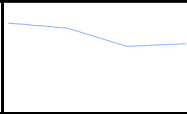
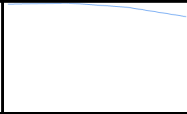
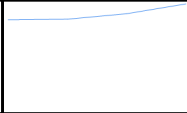
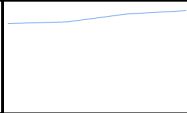
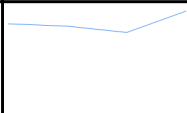
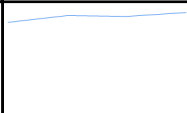
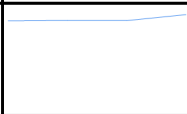
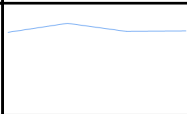
データ提出月数：12か月9

名称	全入院症例数	入院契機同一症例数	入院契機同一症例割合	入院契機異なる症例数	入院契機異なる割合
DIC	1935	0	0.000%	0	0.000%
敗血症	1935	0	0.000%	2	0.103%
その他の真菌症	1935	0	0.000%	0	0.000%
手術・術後の合併症	1935	16	0.827%	0	0.000%

経年変化			①の割合		②の割合
DIC					
敗血症					
その他の真菌症					
手術・術後の合併症					

—— QIP全病院での参考値 ——

名称	全入院症例数	入院契機同一症例数	入院契機同一症例割合	入院契機異なる症例数	入院契機異なる割合
DIC	1991255	809	0.041%	2752	0.138%
敗血症	1991255	6768	0.340%	6491	0.326%
その他の真菌症	1991255	328	0.016%	500	0.025%
手術・術後の合併症	1991255	13822	0.694%	1515	0.076%

経年変化			①の割合		②の割合
DIC					
敗血症					
その他の真菌症					
手術・術後の合併症					

[TOPへ戻る](#)

